

# 河童倶楽部

一歩前へ！

一般社団法人福島県水泳連盟

会長 壺岐ひろみ

「予選は気持ち良く泳げたので、決勝も楽しんでいきます。」日本選手権での拓未君の言葉です。

結果は、ご存知のように瀬戸選手に続き2位で、見事表彰台上りました。

そして、5月のジャパンオープン「ユニバーシアード日本代表のキャプテンに選ばれました。」緊張の面持ちの拓未君から報告を受けました。

子供だと思っていた選手たちは、いつのまにか、逞しい大人になっていました。

4年掛けて、今回のジャパンオープンに出場してくれた樹君は、就職が内定し来年は社会人になります。

黙々と努力を続け、あらゆる大会に出場し活躍し続けてくれた翼君は、将来を見据え悩んでいる最中かな。

やんちゃなイメージが強かった翔一郎君は大学水泳部の男子キャプテンとして、多くの部員をまとめていました。

4人は、東京国体少年Bメドレーリレー3位入賞のメンバーでした。

福島を離れ、福島を想い、それぞれの道をしっかりと自分の足で進んでいる選手たち。最近では、教えられる事ばかりです。

「教育」とは、「共育」である、誰かが言っていました。正にその通りだと思えます。私たちは、水泳に関わってきた中で、子供と共に育ってきたのではないのでしょうか。

考えるより先に動き、悩み、走り、転び、でも、いつのまにか一歩進んでいる子供たち。

ともすると、転ぶのを恐れ「昔は」とか「でも」「しかし」とか後ろ向きに進んでいるかもしれない、私たち大人。

「成功」であれ「失敗」であれ、終わった事に執着しても、プラスにならない気がします。

子供たちを見習い、令和の幕開け、とにかく「一歩」前に踏み出してみます。



## 夏が来た!!

### 寺田選手 ユニバーシアード 快挙!

200mバタフライ **3位** 1:55.99

### 感謝の気持ちを忘れずに

水球委員長 安齋 徹

福島県水泳連盟の皆さまには、日頃より水球委員会の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

福島県の水球の始まりは、昭和53年、全国インターハイの本県開催に遡ります。これを契機に本県に水球チームが誕生し、(当時私は小学6年生)現在に至っております。

平成7年にはふくしま国体があり、私も指導者として強化に携わり、4位入賞を果たすことができました。あれから20年以上の時間がたちましたが、今でも鮮明に記憶の中に残っております。

その後、選手数の減少や、練習場所の問題などで何度も苦境に立たされました。それでも活動を続けてこられたのは、これまで福島水球クラブの活動を支えてくださったスタッフの方々のおかげです。

また、水球の大会のたびにお手伝いいただき競技役員の方々、メンバーが足りないとい



水球選手権にOBが集合

リレーエッセイ

# 河童道

きに選手を参加させてくださった高校の水泳部顧問の先生方。お一人お一人のお名前を挙げて感謝申し上げます。紙面の都合もありますので割愛させていただきます。

沢山の方のご協力により、今も子供達はボールを追い回しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、水球の活動を続けていきたいと思えます。

# 令和元年社員総会 新時代へGo!

4月28日(日) ユラックス熱海で午前中は理事会、午後は社員総会が行われ新年度がスタートしました。新たに県水連副会長(会津水連会長)に長崎敏秀氏、会津地区理事に南正博氏、松原実氏、平野陽子氏が就任されました。

会津水連会長就任  
会員の皆さまと共に

長崎敏秀

水泳界に関わって四十六年、高校水泳部顧問、競技役員として多くの方々と接して学び成長してきました。以前から感じていたこと二点あります。

一つ目は、水泳種目に限ったことではありませんがここ数年前から子どもの少子化影響による選手数の激減でピーク時の半分以下になり高校地区大会が一日で終わるといふ寂しい大会になってしまいました。競技団体、教育機関等を巻き込んだ地道な対策が必要かと思えます。

二つ目は、競技役員の高齢化です。会津地区では、競技役員講習会費の半額補助しながら募っているものの若い方の興味関心が薄いせいにか少ないのが実情であります。講習会費の値下げ、県水連から支援を期待したいと思えます。

各地区似たような実情かと思えます。会員の皆さんの声を聴きながら努めていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



## 第2回 福島県水泳連盟ジュニア委員会主催ジュニア選抜合宿

### クラブの枠を超えジュニアスイマーの強化

合宿統括責任者ジュニア委員会・ジュニア委員長 小林毅

2019年4月28日(日) 5月3日(金)まで郡山しんきん開成山プールをお借りして、第2回福島県水泳連盟ジュニア選抜合宿を開催することができました。日程は前半の2泊3日を10歳以下選抜チーム30名(コーチ4名)、後半の3泊4日を11歳~12歳選抜チーム31名(コーチ2名)で実施いたしました。合宿初参加の選手もいて緊張感をもって臨むことができました。

コーチ選考については、実績はもちろんこれからの福島を背負って立つコーチ陣(20代~40代)をお願いいたしました。また、合宿実施に当たっては直前にコーチ会議を行い、各区分のリーダーコーチを決め、合宿の目的や方向性について話し合い、一人一人が代表コーチとしての自覚を持ち指導に当たる事をお願いいたしました。

ユア福島南が担当、11歳~12歳は磯田コーチ(日新館SS)を中心に遠藤コーチ(ピユア福島東)が担当しました。各区分ともメリハリのある練習メニューで、リタイヤする選手もなく積極的に練習に取り組む姿勢が見えました。他のスクール選手を預かるので、選手とコーチとのコミュニケーション不足が心配されましたが、特に問題無く練習メニューについてなどしっかりとやり取りができていました。

また、生活面では食事、礼儀、マナー等、今後の改善点がいくつか見えました。各家庭やスクールにご協力をいただきステップアップできればと思います。

企画から実施まで短い期間ではありましたが、各スクールの責任者の皆様には、ご理解・ご協力を賜りありがとうございました。無事終了することを報告するとともに、感謝申し上げます。

これを機会にジュニア練習会や合宿・指導者育成など継続的に行い、福島県のジュニアスイマーの強化への足掛か



合宿に積極的に取り組んだ11~12歳選抜チーム31名

りとなればと考えております。今回担当していただいたコーチの皆さん、ありがとうございました。やるからには結果を出しましょう!





今回をきっかけにジュニアの強化も継続していければと感じます。会議で今後繋がる合宿にしたいと話があった通り、今回参加した選手が次もここで頑張りたいと思えるよう、3日間常に考えて行動したつもりです。特にこの世代はコーチがどうエネルギーを持つてどう導くかが大切だなと感じ、反省した点を今後に生かしたいと思います。

郡山インターナショナル

スイミングスクール

星 和磨



初日の練習から選手たちは積極的に練習に取り組み、しっかりコーチ達の話聞き、この合宿での意気込みを感じることができました。食事の面では特に夕食ですが、十分な量を取れていない選手が多かったです。しっかり食事を取るといふこと、その上で強い身体を作っていくことが今後の課題の一つだと感じました。もちろん合宿だけでなく、日常生活からの生活習慣から少しずつ改善できるように指導していきたいです。

郡山南インターナショナル

スイミングクラブ

渋谷和生

クラブの垣根を越えての合宿を行う経験をする事ができ、選手、コーチ共々成長出来たと感じています。コーチ間においては現在担当している選手の話や指導の話をする場面が多くあり、自分の指導法との違いや練習などを聞くことができたこと

が、また新しい見方、考え方ができるのではないかと思っています。選手においては、まだ合宿経験が少ない参加者が多かったこともありなかなか他のクラブの選手と一緒に練習を行う機会が今まで少なかったと思います。

その中で2泊3日一緒に過ごすことで、選手間の仲が深まったと感じています。大会や、またこういった合宿が行われるのであれば、お互いに刺激あえる関係になってほしいと思っています。

ピュアスポーツ

福島南スイミング

小野寺純平

スイミングスクールの垣根を越えて、選手の子にとってもコーチにとっても良い刺激になったと思う。

初日に頭を怪我する子がいたが、それ以外は体調を崩す選手や大きなトラブルもなく終えることが出来て良かった。

ピュアスポーツ

福島東スイミング

遠藤 翔太郎



10歳以下選抜チーム30名・コーチ4名が担当

他クラブとの練習会や合宿の未経験者が多く、初日は当然ながら練習に対しかなり消極的な姿勢がみられた。食事、ミーティング、部屋ごとの入浴等、時間と共に打ち解けていき消灯前にははしゃぎ過ぎるほどで選手のコミュニケーションはうまくいっていたと思う。

未知の内容と練習強度への不安が緊張を強いていたので、勉強会的なワークアウト説明を行ったところメモを取る選手もいて意欲的なところもみられた。2日目からはワークアウト用紙を持ち帰る選手が増え、準備用まで無くなってしまうほどの積極性がみられ、昼休みにはドリルのやり方やキック、ストロークの相談もあり、特に女子の取り組み方が変わっていったのは良かったと思う。選手同士で各クラブの意見交換も活発に行われていたようである。

日新館スイミング

スクール

磯田芳幸